

## 孤立しない、させない 地域づくりをすすめる



無会派（国分寺・生活者ネットワーク） 岩永 康代

■**妊娠期や乳幼児期の相談支援**■市内では核家族の子育て家庭が多く、H25年のアンケート調査では妊娠中や出産後の相談支援が求められており、子育てが孤立しない環境づくりが必要。今年から始まる専門的・医療的な相談支援と合わせて出産前から安心して相談できる場所や人につながる仕組みづくりを、庁内各課や地域の社会資源とも連携して進めていきたい。☞身近な所で相談できる体制を進めていきたい。

■**空き地・空き家の活用**■空き地・空き家の調査は始まっているが、他の自治体では所有者の意向の確認が難しいと言われている。今後の活用について、市民参加で検討・情報交換し、考え合っていける場の設定を。☞昨年の調査では、有効利用が可能と思われる空き家が131件あった。所有者の意思確認から始めていきたい。

■**生活困窮者施策**■今年度は自立相談支援と学習支援の実施であるが、様々な相談に対応できるよう関係機関や地域資源との連携を進め、コーディネート機能の充実を。☞相談者に寄り添えるような形で支援を行ってきたい。

■**暮らしやすい環境の保全・確保**■地域のエネルギーの方向性を含めた市域版地球温暖化対策実行計画の速やかな策定を求める。☞検討委員会を立ち上げ、全庁的な取組を行ってきたい。

■**平和推進事業**■小・中学生の広島派遣「ピースメッセンジャー」の事前研修の充実と、事後の継続的な活動につながる工夫を求めた。

## 新庁舎建設は60億円超！ 本格庁舎はいらない



無会派（無所属） 甲斐 よしと

甲斐) 現在の第1庁舎は当初5年で2億5千万のリースだったが、財政を見誤り、5年を超え利用し続けている。新本格庁舎など必要ない。この第1庁舎につなげて第2庁舎の場所に同じく軽量鉄骨の最低限の分散解消の為に建て替えのチャンスが小金井特別支援学校が西国分寺都

有地に仮校舎で4年間供した後、無料で使わせていただく間に第2庁舎を完成させればよい。軽量鉄骨でも原価償却期間は38年であり最低38年は使える。今後北口返済に117億、三市ごみ焼却にて当市負担40億超、北口につながる国3・4・12号線に50億（報告書では99億だった）、学校を始め老朽公共施設の改修に毎年30億だ。市長)御提案も1つの選択肢としてお聞きした。

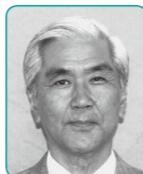
## 2回目の施政方針は 予算審議が楽しみです



無会派（新和会） 伊藤 太郎

Q前市政はマイナスシーリングでした。毎年各部局はマイナス5%とかを何年も継続したので、職員が優先順位が高い政策をやりたくても、その事業を行うには他の予算を削らなくては行けないので、実質は新しい事業をあきらめなければならない。そうする事が長く続くと職員のやる気が低下して、ミスが多くなります。新市政ではゼロベースからの積み上げの予算編成を行い、優先・緊急度を判断していますので、政策課題であった消防署の移設や認可保育園の新設などを盛り込みながら、借金8億円を減らし11億円を基金に積んでいます。これは税金の無駄遣いを減らした結果だと思います。市長) 財政を喫緊の問題として対応しました。

## 市民目線に立った 弱者に心を寄せる行政を



無会派（護憲市民） 釜我 健二

釜我) 井澤市政になって市長と議会、市長と職員の信頼関係は深まっている。一層の努力を。市長) 職員も頑張っている。議会へは情報開示し、正すべきは正し、真摯に隠さずやっていく。釜我) 市が行うアウトソーシング（外部委託）の評価は、行政側の目線ではなく市民目線で行うべき。それこそが市民のための行政に繋がる。市長) 行政の責任回避は許されない。市民目線・利用者の立場から常に考えてやっていく。釜我) 公民館の有料化は、年金生活や低所得市民には大打撃となる。弱者を守るポリシーを。市長) 減免をやっている。同じように進める。

釜我) 井澤市長には時の政権がおかしい時には苦言も呈する、そういう市長であってほしい。

## 市民の力を活かし 活躍できる国分寺にむけて



無会派 片畑 智子

問) 施政方針で述べられている「地域福祉」に対する考え方はその通りであるが、実態として、分野別の個別計画を含めた策定中の「地域福祉計画」は、従来型の「行政計画」としか思えない。この計画で本当に地域福祉が進むのか。市長) 実施計画をつくっていく中で、形づくっていけるよう、各部に指導してまいりたい。問) 国分寺市は「学生のまち」と言われている。新たに呼び込むことも大切だが、「(仮称)国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、今住んでいる若者も大事にして、引き続き住み続けてもらう取り組みも検討していただきたい。市長) ぜひ、若い方々のお力をいただけるような形で広報してまいりたい。

## 「日曜議会」を開催

2月20日の本会議で、市長より平成27年度施政方針演説が行われ、それに対する各会派からの代表質問を2月22日（日）に行いました。

当日は多くの市民の方が来場され、議事を傍聴されました。

国分寺市議会では、今後も「日曜議会」の開催を継続し、「開かれた議会」となるよう取り組んでまいります。

## 議会配信について

市議会では、平成27年2月22日（日）に行われた第1回定例会「代表質問」の様子を、国分寺市議会のホームページで音声配信しています。

今後は映像配信する検討を進めています。配信開始の日程等については、決定次第、市民の皆様にお伝えしてまいります。

# 一般会計予算案に対する討論の要旨

3月23日の本会議で平成27年度一般会計予算案に対する表決に先立ち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論の順番で掲載しています。

## 持続可能な自治体財政 を高く評価



自民党・市民クラブ 田中 政義（所属8名・賛成）

※議長は表決に参加していません。

議案第1号、賛成の立場で、自民党・市民クラブを代表いたしまして、討論をいたします。

まずは、8日間における予算審議、お疲れさまでございました。また、資料の作成等につきましても御尽力いただいた職員の皆様に感謝を申し上げたいと思います。

本予算は、井澤市長の掲げる「財政の健全化」に基づき、昨年度に引き続き、ゼロベース部局積み上げ予算方式に取り組み、真に必要なものを計上した結果、臨時財政対策債を借り入れず、収支均衡予算となりました。また、公債費においては、6億2,099万5千円の減となり、基金においても、財政調整基金を7億6,645万4千円を積み増すことで、将来にわたって安心して生活できる、持続可能な自立した自治体財政に向けて大きく前進したことを高く評価しております。

計上された一つ一つの事業を見ても、待機児童解消に向けた民設民営保育所の整備・拡充、育児不安解消のための専門家による個別相談の

実施や妊婦健診超音波検査費助成の年齢制限撤廃、小学校トイレの洋式化などの子ども子育て施策の充実、小学校通学路防犯カメラの設置、新たな国分寺消防署用地の確保、街灯・照明灯のLED化推進などの安全安心施策の充実等、市民生活に直結する事業が随所に盛り込まれています。

昨年度、井澤市長は、必要な事業を先送りしないという強い決意を込めて臨時財政対策債を借り入れました。今年度において、井澤市長が初めての収支均衡予算を編成したことは、改めて市長の「財政の健全化」に臨む強い姿勢を感じたところです。

次ページに続く▶